

県事協だより



NO.67

2011年 9月 1日

発行 鹿児島県公立小中学校事務職員協議会

編集 県事協理事会



知名町事務職員会

「新規採用としての2ヶ月を振り返って」

下平川小学校 松山 直史

4月4日に何もわからないまま学校事務職員としての生活が始まった。まず、4月の忙しさには驚いた。山積みの書類と毎日格闘し、ただ1日1日を終わらせることに精一杯であった。その毎日の中で、分からないことがあるたびに必ず先輩方がサポートしてくれた。先輩方がいなければ、4月の忙しさは乗り越えられなかったと思う。毎日のように頂いた温かい支援には心から感謝している。

先輩方のアドバイスの中で一番、実践しないといけないと感じたのは、自分が作成した書類は必ず控えを残しておくということだ。控えを残しておくことにより、自分がどこを間違えたのか明白になるので、失敗を次に生かすことができる。また、日々行った業務は何か記録を残しておくことも大切だと思った。

しかしながら、実際には日々の業務に追われ、これらを怠ったことが何度かあった。これからは時間配分などを考え、確実にこれらを行えるようにすることが課題である。

今は数々の失敗で周囲に多くの迷惑をかけながら学んでいる毎日であるが、分からないことだらけなので、先輩方にもどのようなことでも聞くというスタンスを保ち続けていきたい。そして、早く教える側になれるように成長していきたい。

また、事務職員は「子どもと接する機会が少なく、裏方で目立たないイメージ」を持っていたが、実際は昼休みやスポーツ少年団、学校行事など、児童・生徒と接する機会が非常に多いことに驚いた。日々、子どもたちの元気なパワーをもらいながら、生活できる事務職員に幸せを感じています。

最後に、事務職員は教諭と違い、他校の先生(事務職員)と関わる機会が多いと思うが、それこそが事務職員の最大の魅力であると私は感じている。

周囲との連携を密に取り、色々な先生方の色々なやり方・考え方を学び、吸収し日々、努力していきたい。



ほっと、雑談タイム?

みなさん、暑い毎日が続きストレスが溜まって体調を壊していませんか、そんなときアフターファイブ and ウィークエンドはどのような気分転換をしていますか。家

でゆっくり過ごすとか、晩酌をしたり趣味に没頭するなどありますよね。

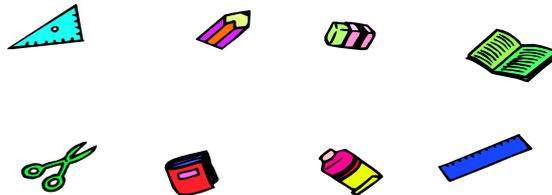
私は、暇さえあれば釣りに行きたいと日々思い続けて仕事をしています。週末の天気が月曜日から気になって仕方ありません。それなのに、今年はまだ大した釣果は得られていません。聞くとみなさん大物を釣り揚げていたりしてうらやましい限りです。

近場の港や堤防では、一人で行ったり、ときどき仲間(事務職員ほか)と一緒にいたりもします。糸を垂らしている間や浮きを眺めてばかりの釣れないときなどは、情報交換の場になっていて研修会の合間にある雑談って感じです。日頃一人で事務仕事をしていると、これが正しい方法なのか悩んでいることを話したり、疑問に思っていることなどが解決することもあったりで私にとってはとても楽しい時間です。

仕事から離れてリラックスするために釣りなどをしていのに勤務時間外も仕事の話(決して仕事が好きな人間ではありません)で変ですけど、仕事以外の時間で同じ時間を過ごす仲間がいて、ほっとするひと時がよいなと思っています。

次は、大物との闘いを投稿できるようになればいいなと思います。いつのことになるのやら…。

県事協理事 川畑小学校 越智 義隆



熊毛地区～屋久島町事務職員会について

報告者:屋久島町立一湊中学校 池田 智子

こんにちは!(!) 熊毛地区には、屋久島町と種子島の西之表市・中種子町・南種子町の一市三町があり 38名の事務職員がいます。間に海があるために、全員が顔を合わせるのは6月の地区研修会と10月の年末調整説明会のみ。しかし高速船の時間があるため、屋久島町の事務職員が種子島の方々と話す機会や町を楽しむ時間はかなり少ないです(+_+)

屋久島町は上屋久町と屋久町が平成19年10月に合併し、島が一つの町となりました。口永良部島も屋久島町です! 12名の事務職員が在籍し、町の事務職員会として活動する他3つのブロックに分かれて月に一度、支援室研修会を開いています。地理的条件もあり5名・4名・3名という変則的な人数ですが、それぞれ構成メンバーの経験などに応じて研修を高めています。町教委が『共同実施』の導入を平成24年4月としているため、事務職員会の代表と支援室の代表が、合同会議に出席しスムーズな導入を目指しているところです。

合併しても備品台帳が整備されておらず、昨年度ま

では台帳システムの立ち上げで手一杯でしたが、それも一段落しいよいよ『共同実施』。旧上屋久の中学校統合も控え事務職員数も減ると予測されるので慎重に進めなければなりません。

合併したのになぜ(?)? ということが他にも色々…。皆様もぜひ一度、屋久島で事務職員生活をしてください(-)-☆ そうは言っても休みの日は、山・海・川・森・ドライブ etc 楽しい事が沢山あります。同じ景色も天気によって違う顔を見せます☆多 種子島より少し不便ですが、飽きることのない離島ライフを満喫できること間違いなしだと思います。



活動経過及び予定

- 4月25日(月) 第1回理事会
- 5月13日(金) 第2回理事会／第1回評議員会
- 5月25日(水) 第3回理事会／第1回常任委員会
- 6月17日(金) 第4回理事会／県事協事業説明会
- 7月15日(金) 第5回理事会・県事協だよりNO.66 発行
- 7月25日(月) 第6次県費事務改善検討委員会(1回目)
- 8月1日(月) HP更新 35
- 8月3日(水) 第6次県費事務改善検討委員会(2回目)
- 8月5日(金) 第6回理事会／第2回評議員会
第10回 県事協 総代会

例年は互助組合会館にて行う総代会ですが、鹿児島市福祉コミュニティーセンターにおいて理事会、評議員会に続いて行いました。節目の10回目でしたが、「学校事務の共同実施に関する現状報告会」を14時から控え運営上は早く終わらせたい、とは思いつつ県下8地区から10名の総代が参加。会長の開会あいさつに続き、教職員共助会・教職員互助組合・鹿教組・教職員共済・学校生協の来賓あいさつでは県事協の活動に対する期待の言葉が寄せられました。南薩・黒木さんが議長、協議に入り、

- 第1号議案 10年度事業経過・決算報告に関する件
- 第2号議案 11年度事業計画・予算(案)に関する件
- 第3号議案 役員承認に関する件

が執行部より提案され、すべての議案が提案どおり承認されました。今年度事業については既に先行実施している第6次県費事務改善検討委員会は昨年同様にマニュアル等更新に携わっていただいているところです。基本的には前年度並みの作業量になると思います。各地区にCDあるいはUSBメモリー等の電子媒体で「仮称R5」を1組ずつ配布する予定ですので、**各地区役員**におかれましては「各地区研修資料データ」と併せて電子媒体にて全会員の皆様に届くようによりしくお願いします。(各地区で電子媒体の予算措置もよろしくお祈りします。)また、昨年度アンケートを実施しましたが、今後マニュアル等を加除式にするか否かなどの方向性を決めていく方針です。

予算について、拠出金は各地区5000円と会員数×定額ですが、今年度の「定額」は1400円で、3月の評議員会で承認済みです。旅費の「車賃」を1kにつき20円ということにさせていただきました。県事協としては活動及び事業に必要な分だけ拠出金をいただいて適切な運営を心がけております。



役員体制ですが、早崎会長が退任し、初代会長の迫田さんが2回目の会長に就任しました。

【2011年度 役員名簿】

役職名	氏名	地区	学校名
会長	迫田 弘昭	南薩	別府小
副会長	吉井 文明	大隅	波野小
理事	箱川 道彦	北薩	川内小
	寄井田 雅裕	北薩	鶴川内中
	越智 義隆	南薩	川畑小
	濱田 裕樹	大隅	森山小
	松元 裕之	日置	羽島中
監事	松元 義邦	大隈	南之郷中
	市之瀬 保久	鹿児島	甲南中

【会員地区一覧】(2011年5月1日現在)

名称	会員数
鹿児島市学校事務研究会	64
日置地区学校事務職員会	38
南薩地区小中学校事務職員会	74
北薩地区小中学校事務職員研究協議会	114
始良・伊佐地区事務職員協議会	90
大隅地区小中学校事務職員協会	132
熊毛地区事務職員連絡協議会	37
大島地区公立小中学校事務職員協会	99
計	648

県費事務改善検討委員会と共同実施に関する現状報告会については次回報告したいと思います。今回冒頭に掲載させていただいた知名町の新規採用、松山先生の文章は大事協だよりから抜粋させていただきました。知名中を皮切りに23年目の私からみるととても新鮮で、本当に仕事に対する意欲が感じられ、刺激を受けます。若い人たちに恥ずかしくない程度の仕事、給料に見合うだけの仕事を追求しなければと思うことです。